

流木で作ったバイオリン演奏会開催へ

震災の記憶
つなぐ音色

東日本大震災の津波による流木から作られたバイオリンを奏でるチャリティーコンサートが20日に多治見市、21日に中津川市で開かれる。
(松田尚康)

世界的に有名なバイオだま)の会」の又川俊
オリン修復家の中澤三会長が「人生二度な
宗幸さんが震災の記憶しつ転じて福とな
を風化させず語り継す」と題して講演す
ごうと、岩手県陸前高る。
田市にあった木材がれ
きを材料に製作した。
裏板には同市の「奇跡
の一本松」が描かれて
いる。コンサートは演
奏家1千人がこのバイ
オリンでリレー演奏す
るプロジェクト「千の
音色でつなぐ絆」の一
環で、昨年3月11日か
ら国内外で開かれてい
る。

「震災を忘れては
いけない気持ちを分か
ち合いたい」と述べ、
協力を求めた。

多治見市では市文化
会館(十九田町)で午
後2時30分から、中津
川市では市東美濃ふれ
あいセンター(茄子川)
で同1時から。ともに
入場料1千円(小学
生以下無料)。問い合
わせは多治見市は具倫
理法人会、電話058
(326) 1120、
中津川市は同社、電話
0573(65) 41
75。

20日に多治見、21日に中津川で



青山節児市長にコンサ
ートの趣旨を説明し、
協力を求める加藤景司
社長(中津川市役所)

両会場ともバイオリ
ニスト城代さや香さ
ん、ピアニスト清水美
岐さんが出演。演奏前
に、コンサートの運営
を支援するNPO法人
「命をつなぐ木魂(こ